

人がふれあう赤レンガ



地元の人に「赤レンガ」と呼ばれているこの建物は、明治42年（1909年）青森から陸軍工兵隊が来た時に、冬の荒天時の馬事訓練用施設として建てられました。当時は同様の建物が6棟、将兵約2,500名、馬約1,600頭があり、戦時中は田中角栄元首相も訓練したことがあるとのこと。

しかしながら、商業地開発や老朽化等から平成20年には最後の1棟になり、一時その存亡が危ぶまれましたが、近隣住民等の保存活動などから盛岡市で歴史的建築物として改修工事を行いました。2012年6月1日「盛岡ふれあい覆馬場プラザ」として開館し、内部はスポーツ練習（フットサルやテニス）、朝市などのイベントができる多目的施設となりました。

